

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S001	初年次セミナー	玉島 健二	1年次通年	この科目は、学生として、また社会人として求められる知識や能力及び多元的で、柔軟なものの方、考え方、行動力などを身に付けてほしいとの願いを込めて開講しています。	学生として、また社会人として必要な素養、考え方、生き方等を身に付ける 命と人権を考え、お互いを大切にすることと行動力を身に付ける 仕事や職業について理解し、社会人としての生きる力を身に付ける	◎	◎	○	◎	◎	○
22S002	マナー学	江頭 万里子	1年次前期	社会人としての基本的なマナーを身に付ける	マナーとは何かを知り、マナーの大切さを理解する 礼儀正しい立ち居振舞いができる 職場におけるコミュニケーションの知識を身に付ける 慶事・吊事における基本的なマナーを身につける 日常生活においてマナーを心掛けることができる	◎		◎			
22S003	長崎観光入門	玉島 健二	2年次前期	独自の歴史と文化を有する長崎市に所在する短期大学に学ぶ者として、また、卒業後に観光県長崎で勤務する社会人として、必要な素養を身に付ける。	長崎の歴史・文化・産業・経済等についての理解を深める 1. に関する事項を県外等からの来訪者に説明できる力を養う 社会人として必要な知識、技能、態度を身に付ける	◎	○	◎	◎	○	○
22S004	日本文化概論	大町 福美 高木 郁子	2年次後期	華道:数百年という悠久の時の流れの中で結実した世界に誇れる文化です。日本の美しい四季を通して「日本のこころ」について学びます。 茶道:茶の湯の芸術性、精神性にふれ、伝統文化・自己表現としての「お茶の世界やその心」を知る。茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識等を学ぶ。	自由花を個性豊かにいけることにより、「表現の喜びや感動」を味わう。 いけばなの成り立ち、基本的知識や表現の仕方を学ぶ。 茶の湯の芸術性・精神性にふれ、伝統文化・コミュニケーションとしての「茶の世界やその心」を知る。 茶道の文化体系としての構造や成り立ちを知り、茶の湯に関わる基本的知識などを学ぶ。	○		○		○	
22S005	ヒトと生物	松尾 公則	2年次前期	ヒトは地球生態系の中の一員であり、他の動物や植物との連携なしには生きていくことはできません。「ヒトと生物」では、身近な動物を通じて、生態系のことを学びます。	身近な動物の生態を知ること、生物について学ぶ楽しさを確認する。 ヒトと野生動物の関わりを知ること、自然との付き合い方を知る。 ヒトは地球生態系の中の一員として生き続けていることを認識する。	△	◎	◎	○	△	△

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S006	心理学	大徳 朋子	2年次後期	日本社会の特徴とそこで生活する人々の心や行動の様相が密接な関わりを持っていることを理解する。	行動科学の観点から人の心を捉えることができる。	○	○	◎	○	○	◎
					日本社会が持っている規範や価値観に関する特徴を理解する。						
					日本社会の特徴を踏まえながら、人の心や行動のメカニズムを理解する。						
22S007	経済学	林 徹	2年次後期	資産運用の感覚をボードゲーム(モノポリー)を通して体得する。他方で、ホットな経済トピックや身近な事例を取り上げて、専門的な考え方や見方の基本を講義する。	資産としての不動産に関する基礎的な知識を理解する。	◎	△	◎	◎	◎	○
					資産取引に関する専門知識の全体像を理解する。						
					取引における交渉の基本を体得する。						
					ボードゲーム(モノポリー)の公式ルールを理解する。						
					ホットな経済トピックや身近な事例を多面的に解釈する。						
22S008	日本国憲法	太田 久美子	2年次後期	日本国憲法の基本的事項について理解し、「権利」とは何か、なぜ権利を護らなければならないのか等ということについて、自らの力で考える力を養うことを目指します。	憲法の用語の正しい理解から、その理念を把握する。						
					権利と義務の関係を理解し、適切な権利行使を可能にする。		○		◎	○	
					権利と義務を理解し、弱者や価値観の違いを受容する土台を作る。						
					憲法(法律)によって裏付けられた世の中の仕組みを理解する。						
22S009	生活と音楽	福井 昭史	2年次後期	社会人として必要な、音楽の理解力を一般教養として身に付ける。人々の生活と音楽との関わりについての理解を深める。音楽の仕組みを理解し創造的な表現の活動を体験する。	一般教養としての音楽の知識や歴史を理解し、音楽への興味や関心を高める。	△	○	◎	◎	○	△
					人々の生活と音楽との関わりを理解する。						
					リズムや旋律など音楽の仕組みを理解する。						
					創造的に表現する力を身に付ける。						
22S010	生活とアート	織田 芳人	2年次後期	日常生活の中で接している様々な美術をより深く理解する。	美術に関する基礎的な知識を身につけて、様々な美術の基本的概念を理解することができる。			◎	◎	△	
					生活の中に見出される様々な美術を再認識することによって、美術の理解を深める。						

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S011	生活と書	北山 千代子	2年次後期	書の歴史・理論・技法・鑑賞・表現などを考究する。	文字の歴史を学ぶことによって、伝統文化としての「書」の存在意識を理解する。 「美しい文字」を鑑賞・練習することによって、感性を高め技法の上達にも努める。 朝日新聞「天声人語」等によって、読み・書き・話す能力を高める。 静聴できる態度(心構え・習慣)を体得する。	○	△	◎	◎	○	○
22S012	生涯スポーツ	宮崎 美保	1年次通年	生涯の推進や現状などを把握し、今後の生活設計を考え生涯にわたって自主的にスポーツを楽しみながら健康保持していきけるようになることを目標とする。	運動の意義と必要性を理解することができる。 運動の実践を通じて、健康保持・体力の向上を図ることができる。 緊急事態の対処法を理解することができる。		○	○	○	○	
22S013	英語	磯崎 美鈴	1年次通年	コミュニケーションツールとして英語を「使える」ようになるために、テキストを用いて内容中心の言語活動や実際に意味のあるやり取りを行いながら文法を学び、Listening・Reading・Speaking・Writingの4技能の習得を目指す。	日常会話に必要な語彙力を高める。 リスニング力を養う。 学んだ文法を使うことで英語でのコミュニケーション能力の向上を目指す。 英語で自分の考えを書く力を養う。 海外事情を知ることで、視野を広げる。	○		○	◎	○	
22S014	中国語	堺 蘭	1年次通年	外国語学習は、基礎固めが重要で、しっかりした基礎が固められれば、今後のステップアップが容易になる。本講義では学習者の中国語の基礎学習の一助となることに資する。	中国語の発音をしっかりと習得 未来をひらく実用中国語を習得 よく使うIT用語を身につける 激動する中国の新しい文化・言語・社会の現状を学びながら中国語を習得する			◎			

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S015	韓国語	金 英泰	1年次通年	1. ハングル(韓国語)に親しくなり、読み方、書き方、発音、文法の基礎を学ぶ。ヒアリング・会話能力を習得する。 2. パソコン上で韓国語の文字入力およびインターネット検索ができるように学ぶ。	ハンゲルを読む、書く、聞く、話すことができるようになる。 ハンゲルによる基本的ITリテラシーを身につける。 授業を通じて、韓国文化を学びながら国際的なコミュニケーション能力を高める。	○	◎	◎	◎	△	△
22S101	栄養士の科学	松尾 公則	1年次前期	栄養士として必要とされる化学的な基礎知識(物質の性質や濃度の表し方、単位など)を学ぶ。	物質の成り立ちを原子、分子のレベルで理解する。 物質(食品など)の状態(気体、液体、固体)の性質を理解する。 物質内でおこる変化(調理による化学変化など)を理解する。 物質の濃度の表し方、単位の使い方を理解する。 有機化合物とその働きについて理解する。	○	△	◎	◎	○	△
22S102	長崎食育学	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	1年次前期	長崎独自の食文化や各種行事の食について学ぶことにより、地域の文化や伝統の根幹に食が関わっていることを学ぶ。また、授業に卓袱料理試食会を取り入れ、食文化継承の目的について考える機会を設ける。	系統立てた授業内容により長崎の食文化について理解を深める 長崎の食材・料理・行事などを学び、郷土愛を高める 本コースが目指す地域密着型の栄養士教育の意味を理解する	○	○	○	○		○
22S103	情報処理演習	森 弘行 濱口 なぎさ	1年次前期	コンピュータを使ったプレゼンテーション能力の向上	必要な情報を自由自在に処理できる能力を身につける 栄養計算ソフトや、各種ソフトを利用できる 情報収集とプレゼンテーション能力の向上			○	○		
22S104	栄養士スキルアップ特講	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次後期	栄養士実力認定試験A評価100%を目指し、出題科目の理解度を高める。	目標に向かって努力することができる。 授業外学修を重ねることで、知識を深める。 計画的に学びを進めることで、主体性を高める。	○		◎		○	

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S201	公衆衛生学	管原 正志	2年次前期	予防医学、環境保全に必要な処理・対策、労働衛生・衛生管理、少子高齢化社会での保健医療、社会福祉・社会保障についての知識を得る。	公衆衛生学の知識を日常生活の中で活用できる。 身近な生活環境と健康、疾病予防などの基礎的な知識を学び、考える視点を養う。 行政の仕組みとして高齢化・年金・福祉などの制度を理解する。 保健に関する実務を理解し実践や説明ができる。			◎	○		
22S202	社会福祉概論	荒木 正平	2年次後期	栄養士・社会福祉主事に必要な社会福祉の基礎的知識、理論、法制度等を学び、人々の生活を支える栄養士・社会福祉主事としての役割や社会福祉のしくみ、対人援助の基本を修得する。	栄養士・社会福祉主事が社会福祉を学ぶ意義と目的を理解する。 社会福祉・社会保障の目的を理解し、法制度の体系についての基礎的知識を習得する。 社会福祉の援助方法、専門職の倫理に関する基本を理解する。	○	△	◎	○		
22S301	解剖生理学	井上 靖久	1年次後期	人体の構造と基礎を論理的に理解し、その両者が緊密に相関していることを理解する。また健康の維持の為に環境の変化に対応していることも合わせて理解する。	人体の基本的構造の理解 人体の機能と構造の相関の理解 人体の各系統のつながりの理解 自分自身の身体と知識の整合性の理解 自分自身の身体と環境との関係性の理解			○	◎		
22S302	解剖生理学実習	井上 靖久	2年次前期	人体の構造と機能の基礎を理解し、両者が相関してヒトの生命活動を保証していることを実感する。	解剖生理学の講義で学んだことを実習の中で、自分自身の「人体」に照らして実感する。 人体はその時々々の環境の変化に対応して変化・適応していることを理解する。 実験・実習の結果を理解して、論理的に説明できる。			○	◎		

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S303	生化学Ⅰ	吉井 学	1年次後期	食品中の栄養素がヒトの体内でどのように変化し、どのようなメカニズムで生体内物質を生成するかについて学ぶ。また、生成された物質が生体内でどのような作用をもつかを学習する。	人体を構成する化学組成とその働きについて理解する。						
					食物成分の分解と吸収について理解する。						
					消化により生成された物質からのエネルギー産生について理解する。			○	○		
					生体内での物質の変換について理解する。						
					細胞内での化学物質の関係について理解する。						
22S304	生化学Ⅱ	吉井 学	2年次前期	生体内での代謝を理解し、遺伝子と蛋白質の合成の関係や代謝の調節に欠かせないビタミン及びホルモンについて学習する。	代謝の全体像を理解する。						
					遺伝子の役割と蛋白質の合成について理解する。						
					代謝に関与する物質の関係性を理解する。			○	○		
					ビタミン、ホルモンの機能について理解する。						
					食餌と代謝の重要な関わりと疾患の成立について理解する。						
22S305	生化学実験	吉井 学	2年次後期	生体成分の基礎的な分析法を体験し、今後の自身の職務に活用できるようにする。	尿成分の分析(各自の尿の試験紙法、尿中細胞の観察)						
					血液成分の分析(Ht,Hb,RBC形態の観察)						
					血清成分の分析		○	○	○	○	
					糖の定性分析						
					酵素活性						

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S306	運動生理学	古賀 英俊	2年次後期	将来の栄養指導、運動処方に必要となる、基礎的運動生理学を学び、実践していける能力を身に付ける。	運動生理学的観点から栄養学を見つめなおす。 運動とエネルギー代謝を理解することは栄養学と密接な関係があることを理解する。 運動能力が心肺機能と栄養に依存していることを理解する。 運動がもたらす認知機能の改善やメタボリック症候群の予防、改善のメカニズムについて理解する。	○	○	○	○	○	○
22S307	病理学	七條 和子	2年次後期	疾病における臓器、組織、細胞の形態変化の理解	病理学に親しみを持つ。 病理用語の定義を理解する。 病理スライドを理解する。 病因について理解を深める。 食生活との関連性を考える。	○	◎	◎	◎	◎	○
22S401	食品学Ⅰ(食品成分の科学)	池田 光吉	1年次前期	栄養学を学ぶためには、人体と食品からのアプローチが必要である。食品学Ⅰでは、食品学の基礎である食品の成分(水分、栄養成分、嗜好成分、機能性成分等)について、その種類・構造・性質などを学ぶ。また、調理、加工、貯蔵における食品中の成分変化について学ぶ。	食品中の水分の構造と性質について説明できる。 5大栄養素の化学構造と性質について説明できる。 調理、加工、貯蔵における食品の成分変化について説明できる。 食品の一次機能について説明できる。	○	○	○	○	○	○
22S402	食品学基礎実験	桑原 真美	1年次前期	食品学実験の基礎を学ぶ。	食品の基本的な成分の性質が理解できるようになる。 実験結果をレポートにまとめる力を身につける。 グループ活動により協働性を身につける。	○		◎	○		

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S403	食品学Ⅱ(食品の機能)	池田 光吉	1年次後期	栄養学を学ぶためには、人体と食品からのアプローチが必要である。食品学Ⅰでの学びを踏まえ、植物性食品・動物性食品・その他食品(食用油脂、甘味料、調味料、香辛料、アルコール飲料、嗜好飲料など)の種類、栄養特性、機能特性、加工特性等について学習する。	各食品の特徴を説明できる。	○	○	◎	◎	○	○
					各食品に含まれる栄養素及びその含有量を説明できる。						
					調理、加工、貯蔵における食品の成分変化について説明できる。						
					各食品の適切な取扱いと貯蔵方法について説明できる。						
					調理の目的に応じて食材を選ぶことができる。						
22S404	食品加工学実習	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次後期	食品加工の原理を学び、加工食品に対する意識を高める。	加工食品と品質検査の関係が理解できる	○	○	◎			
					加工食品を作る技術が高まる						
					保存性に対する意識が高まる						
22S405	食品衛生学	桑原 真美	1年次前期	食品によって引き起こされる疾病とその予防法について学び、食中毒予防のための衛生管理を実践できる力を身に付ける。	食中毒の原因となるものを知る。			◎	○		
					食品によって引き起こされる疾病について理解する。						
					食品衛生についての態度を養う。						
					HACCPによる食品衛生管理を実践するための知識を身に付ける。						
22S406	食品衛生学実験	桑原 真美	1年次後期	食品や水の衛生状態について、実験を通じて体験・理解する。	衛生管理に必要な知識を身につける。	◎		◎	◎		
					実験結果をレポートにまとめる力を身につける。						
					実験操作を通じて次にするべき先見力を身につける。						
22S501	栄養学Ⅰ(基礎栄養学)	桑原 真美	1年次前期	栄養素の性質と健康とのかかわりを理解する。	栄養素の概念を理解する。			◎	○		
					主要な栄養素の性質と役割を理解する。						
					消化吸収と代謝について理解する。						



令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S502	栄養学Ⅱ(ライフステージと栄養)	桑原 真美	1年次後期	ライフステージ別に生理的・身体的特徴をふまえ、食事の管理を中心とした栄養管理を実践するための知識技術を学ぶ。	栄養ケア・マネジメントを理解する。 日本人の食事摂取基準を理解する。 各ライフステージの栄養管理について理解する			◎	○		
22S503	応用栄養学実習	太田 美代	1年次後期	応用栄養学の講義を踏まえ、各ライフステージの栄養特性に応じた実践的な栄養マネジメントの展開を学ぶ。	ライフステージ別の栄養特性を理解する。 ライフステージ別の献立作成ができる。 周囲との円滑なコミュニケーションがとれる。	△	△	◎	△	△	△
22S504	臨床栄養学Ⅰ(病態の理論)	古賀 克彦	1年次後期	学生が各種疾病と食事療法との関係を理解することを目的とする	各種疾患の定義、病因、症状、診断方法、治療方法について理解する 各種疾患の栄養上の問題点と食事療法の関係について理解する			◎	○		○
22S505	臨床栄養学Ⅱ(食事療法の原理)	古賀 克彦	2年次前期	学生が各種疾病と食事療法との関係を理解することを目的とする。	各種疾患の定義、病因、症状、診断方法、治療方法について理解する 各種疾患の栄養上の問題点と食事療法の関係について理解する			◎	○		○
22S506	臨床栄養学実習	古賀 克彦	2年次前期	学生が各種疾患患者を対象とした治療食を提供するに当たり、必要な知識と技術を修得することを目的とする	代表的な各種疾患の治療食の特徴や調理方法について理解する 常食から治療食を作成する方法(献立の展開)を理解・修得する			◎	○		○
22S601	栄養教育指導論Ⅰ	古賀 克彦	1年次前期	学生が栄養指導に必要な理論や技術、および基本的知識を修得することを目的とする。	食生活の変遷と疾病構造の変化や、関連法規や各種基準について理解する 栄養指導に必要な各種理論や技術を習得する 長崎県の栄養上の問題点を把握する			◎	○		○
22S602	栄養教育指導論実習Ⅰ	太田 美代	1年次後期	栄養指導を行う際に必要となるスキルを修得することを目標とする。	栄養士として必須の技術である、献立作成能力を修得する 栄養指導に必要な各種指数を理解し、計算や評価を行うことが出来る技術を身につける			◎			◎

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S603	栄養教育指導論Ⅱ	古賀 克彦	1年次後期	学生が栄養指導に必要な理論や技術、および基本的知識を修得することを目的とする	各ライフステージ別の栄養上の特徴や、問題点とその指導方法について理解する 栄養指導が必要な代表的疾患の特徴と、その指導方法について理解する 長崎県における栄養上の問題点を把握する			◎	○		○
22S604	栄養教育指導論実習Ⅱ	太田 美代	2年次前期	学生が栄養指導を行う際に必要となるスキルを修得することを目標とする	栄養指導を行うために必要なスキルを修得する 糖尿病患者の為の食品交換表の使用方法を修得する			◎	○		◎
22S605	公衆栄養学	桑原 真美	2年次後期	健康保持・増進と公衆栄養の関連を理解する。	公衆栄養活動について理解する。 健康と栄養の関連について理解する。 わが国の公衆栄養政策について理解する。			◎	◎		
22S701	給食経営管理論	太田 美代	1年次前期	給食業務を行うために必要な給食マネジメントの基礎を学ぶ。	給食施設の種類とその特性を理解する。 PDCAサイクルに基づいた給食業務の流れを理解する。 大量調理施設衛生管理マニュアルを理解する。 発注量と栄養評価の計算ができる。			◎		△	
22S702	給食経営管理論実習Ⅰ	太田 美代	1年次後期	PDCAサイクルに基づいた給食業務の流れを理解し、食事サービスに必要な技術を修得する。	献立作成、発注、検収、保管の方法を理解する。 ミスのない発注書を書ける。 衛生管理における重点事項を理解する。 責任を持ち、積極的に取り組むことができる。	△	○	◎	△	○	△

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S703	給食経営管理論実習Ⅱ	太田 美代	2年次前期	給食経営管理論実習Ⅰでの経験を活かし、食事サービスに必要な知識と技術を高める。	対象者と提供者の両方を考えた献立作成ができる。	△	△	◎	△	○	△
					ミスのない発注書が書ける。						
					大量調理のコツと調理機器の使い方を理解する。						
					大量調理施設衛生管理マニュアルに準じた仕事ができる。						
22S704	学外実習総合演習	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次通年	学外実習の事前・事後指導を通して、その目的を理解し、課題発見力やマナーの向上を目指す。	目標を立て、努力することができる	○	○	○	○	◎	◎
					社会人としてのマナーを身につける						
					自分の考えを的確に伝えることができる						
22S705	学外実習Ⅰ	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次前期	給食施設での実習を通して、施設の特徴を理解し、栄養士に必要な知識や技術を再確認する	実習施設の特徴と栄養士業務を理解する	○	○	○	○	○	◎
					社会人としてのマナーを身につける						
					周囲との円滑なコミュニケーションがとれる						
22S706	学外実習Ⅱ	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次後期	給食施設での実習を通して、施設の特徴を理解し、栄養士に必要な知識や技術を再確認する	実習施設の特徴と栄養士業務を理解する	○	○	○	○	○	◎
					社会人としてのマナーを身につける						
					周囲との円滑なコミュニケーションがとれる						
22S707	調理学	桑原 倫子	1年次前期	食品の特徴を理解し、調理に活かすための基礎的知識を習得する。 食を安全・栄養・嗜好の面からとらえた、食事計画について学ぶ。	食事設計の意義と内容を理解する。			◎	○		
					おいしさの要素と評価方法を理解する。						
					調理操作と調理機器の特徴を理解する。						
					食品の調理特性を科学的に理解する。						

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目コード	科目名	担当者	開講時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 主 体 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S708	調理学実習Ⅰ(調理実験を含む)	桑原 倫子	1年次前期	調理の基礎的な知識と技術を習得する	調理器具の使い方を習得する	○	◎	○			
					栄養価計算方法を習得する						
					食品衛生に関する基礎知識を習得する						
					様式別調理の概要と調理操作の基本及を習得する						
					包丁さばきを覚え、包丁に慣れる						
22S709	調理学実習Ⅱ	桑原 倫子	1年次後期	調理の基礎的な知識と技術の習熟をはかり、より高度な技術を習得することを目的とする	様式別調理の調理操作を習得する	○	◎	○			
					基本の調理操作を習得する						
					季節の食材や行事食などの献立を習得する						
					食文化について興味を深める						
22S710	調理学実習Ⅲ	桑原 倫子	2年次後期	調理実習Ⅰ・Ⅱで習得した知識と技術を基に、栄養士として応用展開できる実践力を養う	長崎の食文化について理解を深める	○	◎	○			
					食品の栄養素に着目した献立構成を理解する						
					自身の食習慣を理解できるようになる						
					調理技術・段取り力の更なる向上						
22S801	プレゼミナール	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	1年次通年	食と栄養の分野の中から関心のあるテーマを選択して研究を進めていく際の方法について基礎的事項を実践的に学び、主体的に課題解決を図る素養を養うとともに、長崎食育学で学ぶ長崎の食文化の継承の担い手としての自覚を高める。	学生と教員との協働の意味が理解できる	○	○			◎	
					テーマの追究に主体的に取り組み、チームに貢献できる						
					先輩と交流し共に活動することで、食文化の継承者としての自覚をもつ						

令和4年度入学生 生活創造学科栄養士コース カリキュラムマップ

カリキュラム・マップ(リスト型)

科目 コード	科目名	担当者	開講 時期	科目の主題	到達目標	学修成果との関連(大◎、中○、小△)					
						1.「尽心」 誠実な人柄と 人間力		2.「創造」 高度な知性と 創造力		3.「実践」 明確な意思と 実践力	
						① 誠 実 性 ・ 真 摯 性	② 多 様 性 ・ 協 働 性	③ 知 識 ・ 技 能	④ 表 現 考 ・ 創 造 断 力	⑤ 実 行 性 ・ 自 立 性	⑥ 就 業 力 ・ 貢 献 力
22S802	ゼミナール	太田 美代 古賀 克彦 桑原 倫子 桑原 真美	2年次通年	卒業研究に主体的に取り組む過程を通して、食と栄養に関する理解を深め、栄養士として基礎的な能力と実践力を養うことを目的とする。また、授業計画に卓袱料理試食会を取り入れ、食文化の継承と協働の必要性について学ぶ機会を設ける。	学生と教員との協働の意味が理解できる。 主体的に取り組む、チームに貢献できる。 教員との触れ合いが社会人のマナーや考えを学ぶ場となる。 栄養士に食文化継承の役割があることを理解する。	○	○		○	◎	○